

モラロジー 道徳教育

～知徳一体の教育をめざして～

No.161

- 師匠から弟子へ「教える」ではなく「伝える」ということ 小林澤應
- 群馬県富岡の養蚕を障害者が担う② 中村 淳
- 不登校、問題を抱える子どもたちと富士山に登り続けて15年② 大久保俊輝
- AI時代の分別と無分別 犬飼孝夫
- 「分かったつもり」の道徳授業 加藤忠男
- 未来を拓くキャリア・スタディ 秋元誠道
- 学校のちょっといい話・エッセイ

編集・発行 公益財団法人モラロジー研究所
生涯学習本部 学校教育センター

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号
電話 04-7173-3219 ファックス 04-7176-1177

小中一貫教育の推進で大きな壁になるのが小学校と中学校の教員の交流です。学校文化の違いによる戸惑いを感じる教員が多くいます。その大きな壁を乗り越えるきっかけの一つが道徳教育です。他の教科と違い、全ての教員が道徳科の授業をします。それゆえに、

池田市では、「学びつづけ、ともに生きる子ども」の育成を目指して、小中一貫教育を推進しています。平成二〇年度より小中一貫教育の研究を進め、平成二六年度より全小中学校において小中一貫教育の本格実施をスタートさせました。各中学校区を学園と位置づけ、学園の全ての教職員の交流の場「Wishの日」を設定して意思疎通を図ったり、小学校五年生から一部教科担任制を実施したりするなど、小学校六年間と中学校三年間の九年間の育ちを見据えた系統的な指導に取り組んでいます。また、平成三〇年四月には、義務教育学校「池田市立ほそごう学園」を開校し、市内の小中一貫教育の推進校として様々な発信をしております。

小学校と中学校の教員がよりよい授業を目指して、同じ土俵で話をする事ができます。発問の工夫や板書の仕方、授業で大切にすることなど様々な議論を積み重ねました。また、学園の道徳研修も価値あるものとなりました。道徳の研修では教員自身も、自己の生き方について考えます。そして、お互いの生き方を交流することで、個々の人間性や道徳性を高めることができます。小学校も中学校も関係ない一人の個として自分の生き方を交流することで教員同士の深い繋がりが生まれ、小中一貫した道徳教育を進めることができます。

本市では、教員も子どもも真剣に自分に向き合い、ともに学ぶ仲間と真剣に意見を交流することを大切にした道徳教育に取り組んできました。これらは、道徳的な生き方を学び、自らの人間的成長と教育力の向上を目指すモラロジー研究所の諸活動につながることであり、今後の貴研究所のさらなる発展を祈念いたします。



道徳教育を通じた小中一貫教育の推進

池田市教育長 田渕 和明